

7月に入っても日差しが少なく、肌寒い日が続いています。7月としては記録的な梅雨寒と日照不足になっていて、私たちの暮らしのさまざまなところに影響が出始めています。

ところで、梅雨は、日本の南方沖に停滞する梅雨前線によってもたらされる、雨が約1か月続く期間をいいます。梅の実が熟する頃なので「梅雨」と書き、古くは「梅の雨」とも呼ばれていました。本年度は、これほどまでの梅雨寒と日照不足に見舞われるとカラッと晴れた眩しい夏日がとても恋しく感じられます。

明日から、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みです。1学期の復習をして基礎学力の定着を図ることも大切ですが、それ以上に、夏休みでしかできない経験をたくさんしてほしいと思います。



■ 防球ネット工事が始まります。

「防球ネット」の新設工事が7月20日（土）より開始されます。この工事により、本校に隣接する道路の安全確保が図られるとともに老朽化した遊具（コンビネーション、雲梯、滑り台等）の撤去等を進め、校庭の有効スペースの拡大に努めたいと思います。なお、本工事は、8月30日（金）までとなっております。保護者、地域の皆様には大変ご不便をお掛けしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



■ 「子どもアイデアコンテスト」に全校で挑戦したいと思います！

「子どもアイデアコンテスト」（本田技研工業（株）主催）とは、指定の用紙（B4サイズ）に未来にあったらいいなと思うアイデアを絵にする【ステップ1】、そして、一次審査を通過した場合、そのアイデアを立体作品にし、最終審査にて発表する【ステップ2】コンテストです。（審査員長は脳科学者の茂木健一郎さん）。

主なコンテストの流れは以下の通りです。



【ステップ1】 村川教授による授業にてアイデアを考える、絵に描く

⇒ 学校より作品をHONDAの一次審査に出展

【ステップ2】 一次審査で選ばれた場合は、アイデアを立体作品にし、最終審査に出展

⇒ HONDA本社においてプレゼンテーション・審査・表彰（最終審査）

夏休み明けの9月6日（金）、このコンテストのオブザーバーを務める村川雅弘先生（甲南女子大学教授：前文部科学省中央教育審議会委員）が本校に本校し、全校児童に授業をしていただけることとなりました。そこで、このコンテストに全校で挑戦したいと思います。

なお、アイデアを絵に描く【ステップ1】学習は、9月の村川先生の授業の中で取り組みます。そこで、この夏休み中に「未来にあったらいいなと思うアイデア」をいくつか考えておいてほしいと思います。八幡っ子らしい素敵なアイデアを期待しています。



村川 雅彦 先生

子どもアイデアコンテスト



■ 今、校長室前では鈴虫が優しい声を奏でています。

今、校長室前の廊下にて、耳を澄ませると鈴虫の優しい鳴き声がちらほらと聞こえてきます。鈴虫は鳴くと言われていますが、実は2枚の翅をこすり合わせて音を奏でているのです。学校にお越しの際には、耳を澄ませ、鈴虫の優しい鳴き声をお楽しみください。

